

平成 26 年産 紀南の梅産地情報

14/04/22

1. 4月10日の定点着果調査では、小梅の着果数は前年よりやや多く、平年並みであった。古城の着果数は前年よりやや少なく、平年並みであった。主力の南高では、着果数は前年より多く、平年に比べやや多かった。



4月18日時点の実肥りは、南高で21mmと昨年より1週間程度遅く、ほぼ平年並みとなっている。

定点調査の着果数（枝径2㍎の枝当たり）と着果率

品 種	平年 (H16~25)		平成 25 年		平成 26 年			
	着果率	着果数	着果率	着果数	着果率	着果数	平年比	前年比
小 梅	35.8%	137	31.4%	124	32.4%	141	103%	114%
古 城	10.3%	37	10.4%	38	9.8%	34	91%	88%
南 高	15.1%	53	16.2%	50	18.4%	61	116%	122%
在来系	13.5%	46	21.5%	57	18.8%	35	76%	61%

2. 4月21日梅部会まとめの生産予想量は、小梅976トﾝ（前年比83%、平年比103%）、古城812トﾝ（前年比81%、平年比87%）、南高24,103トﾝ（前年比80%、平年比103%）、在来系624トﾝ（前年比86%、平年比93%）を見込んでいる。生産量は今後の気象等により変動することがある。
3. 出荷販売時期は、果実の生育がやや回復していることから、現時点で小梅は5月17日頃から、古城は昨年並みの5月20日頃から、南高では5月末頃からの販売を予定している。
4. 結実後の気温は、3月下旬は平年より高めで推移したが、4月上・中旬は平年より低くなっている。

月 旬	平均気温 ℃				降水量 mm			
	平年	24年	25年	26年	平年	24年	25年	26年
3月下旬	11.8	10.9	13.0	13.4	51.1	81.0	13.0	57.5
4月上旬	13.8	12.3	14.2	12.6	50.0	35.0	41.5	2.5
4月中旬	15.1	15.6	14.1	14.5	55.5	48.5	7.5	26.0

南紀白浜気象データより（平年は白浜気象データ）